

## 特別活動

(高等学校)

**Q13** 特別活動と「キャリア教育」の関連について、どのように捉えるとよいですか。

**A13** 特別活動は、学校教育全体を通して行うキャリア教育の要の活動と捉えます。

キャリア教育の要としての役割を担うこととは、

キャリア教育が学校教育全体を通して行うものであるという前提の下、これからの学びや自己の生き方を見通し、これまでの活動を振り返るなど、教育活動全体の取組を自己の将来や社会づくりにつなげていくための役割を果たすということです。

特別活動の中でも特に、ホームルーム活動の果たす役割が重要です。

ホームルーム活動

内容(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

### ア 学校生活と社会的・職業的自立の意義の理解

現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。

### イ 主体的な学習態度の確立と学校図書館等の活用

自主的に学習する場としての学校図書館等を活用し、自分にふさわしい学習方法や学習習慣を身に付けること。

特に、学校生活・学業不適應等から中途退学者や不登校となる生徒が多くなる1年生の時期には、自ら学習計画を立てて実行する中で、学習意欲を向上させ、望ましい学習習慣を確立させていくことが大切である。

### ウ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の醸成

社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること。

### エ 主体的な進路の選択決定と将来設計

適性やキャリア形成などを踏まえた教科・科目を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること。



### 留意点

- ★ 「キャリア形成」とは、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための働きかけ、その連なりや積み重ねを意味します。これからの学びや生き方を見通し、これまでの活動を振り返るなどして自らのキャリア形成を図ることは、これからの社会を生き抜いていく上で重要な課題です。
- ★ キャリア教育は、教育活動全体の中で基礎的・汎用的能力を育むものです。就業体験活動や進学や就職に向けた指導などの固定的な活動だけにならないようにすることが大切です。
- ★ 小学校から中学校、現在までのキャリア教育に関わる諸活動について、学びの過程を記述し振り返ることができるポートフォリオ的な教材(キャリア・パスポート)の作成と活用を通して、自身の成長や変容を自己評価したり、将来の社会生活や職業生活を展望したりする活動が求められます。